

(様式1)

平成17年度 事務事業評価表

記入年月日	平成17年4月22日		記入者		内線	2612
部名	保健福祉部	課名	地域医療課		課長名	近藤敏男
事務事業名	救急医療情報センター運営事業					
予算上の事務事業名	救急医療情報センター運営事業					
1 総合計画における位置づけ			施策コード	12320		
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして					
政策名	第2章 生涯にわたる健康づくりを進めます					
基本施策名	第3節 市民医療の充実					事業開始年度
施策名	第2施策 救急医療体制の充実					昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	相模原市急病診療事業実施要綱					
3 個別計画の概要	概要					
計画名						
計画年次		年度～		年度		
4 事業形態の区分	サービス提供 ▼					
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果)					
	休日、土曜日及び毎夜間における急病患者に対して、受診可能な医療機関を電話で案内するシステムを整備することにより、市民の健康で安全な生活に寄与する。					(2) 対象(誰、何)
						市民
	(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
	相模原救急医療情報センターの運営 (社)相模原市医師会への委託事業 開設時間 平日 午後5時から翌朝9時まで 日数 365日 土曜 午後1時から翌朝9時まで 日数 51日 休日 午前9時から翌朝9時まで 日数 71日 お盆 午前9時から翌朝9時まで (8月12日から19日までの7日間：日曜は既存の体制、土曜は午前中のみ)					
6 関連・類似事業や他市の状況	県内市町村のうち、市単独で同様のシステムを実施しているところは、横浜市、川崎市、鎌倉市のみである。それ以外の他の自治体では、消防指令が兼務するケースや広報紙による案内など簡易的なものが多い。					
7 事業費の推移	[単位：千円]					
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業費	64,227	62,939	62,968	61,747	61,747	
一般財源	64,227	62,939	62,968	61,747	61,747	
受益者負担金	0	0	0	0	0	
その他の特定財源	0	0	0	0	0	
人件費の合計	1,678	1,602	1,614	1,614	1,614	
事業コスト合計(a)	65,905	64,541	64,582	63,361	63,361	
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)	主たる事業名					
	救急医療情報センター運営事業			対象名称(単位)	相談者数(急病患者)	
年度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)	
事業コスト(主たる事業)	65,905	64,541	64,582	63,361	63,361	
対象数	76,714	75,898	70,469	70,469	70,469	
単位あたり経費(円)	859	850	916	899	899	
前年度比		0.99	1.08	0.98	1.00	

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	案内業務実施日		指標式と指標の説明	休日・夜間等市民のニーズに対応する実施日を指標とする。日数は夜間、休日昼間、土曜日午後等を1日として計算した述べ日数		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	485.0	486.0	494.0			
目標	485.0	486.0	494.0	495.0	495.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	受付件数		指標式と指標の説明	情報センターで受付する市民からの相談件数を指標とする。		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	76714.0	75898.0	70469.0			
目標	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	
目標達成度						
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
B	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[] : 良好な状態を維持する事業				
	[] : 概ね良好な状況である事業				
	[] : 見直しを行う必要がある事業				
	[] : 抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		同センターが診療可能な医療機関の案内業務を一括して行うことにより、初期・二次・三次救急医療機関への効率的な患者の案内が可能となり、特定の医療機関への患者集中を排除し、限られた医療資源の有効活用に寄与している。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
従来、休日・土曜・夜間のみで実施していたが、市民からの照会状況を考慮し、平成16年度から医療機関の休みが多いお盆期間中に実施するなど事業拡大した。また、情報センターの案内体制について充実等検討する。			情報センターの案内業務において、市民の苦情が寄せられる事例もあり、今後の検討課題である。 また、案内の対象となるメディカルセンターも含めた医療機関の心需体制の充実も併せて必要となる。			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
現状維持	<input type="checkbox"/>	拡充・充実		効果的な事業実施を推進する。		
	<input checked="" type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				